

にいがたアイサポートセンター

メールにいがた



149号 2021年4月
新潟県視覚障害者福祉協会
新潟県視覚障害者情報センター

今号の内容

1 開館・電話受付時間と4月～6月の休館日 3ページ

- 開館・電話受付時間
- 4月～6月の休館日
- ゴールデンウィーク中の休館日のお知らせ

2 視覚障害者情報センターから 3ページ

- 令和3年度のセンター職員
- 新しい職員の紹介
- 令和3年度のセンター事業計画・年間行事
- イベント情報 囲碁体験会のご案内
- イベント情報 第2回ふれ愛ブックトーク開催のご案内
- デイジー雑誌休刊のお知らせ
- 利用者アンケートの概要報告
- サピエ図書館 人気図書ランキング
- 利用者参加・文芸コーナー
- 文芸コーナー 令和2年度理事長賞、情報センター長賞の発表

3 お役立ち情報 13ページ

- 新潟県視覚障害者福祉協会からのお知らせ
 - (1)「ふれあい・いきいきサロン」のご案内
 - (2) アイフェスタ2021の開催予定について

4 視覚障害者関連団体からの情報 14ページ

- 日視連の令和3年度事業計画
- 日視連&ネット情報

5 県内主要文化施設が企画・主催する行事 17ページ

(映画上映会、講座)

- (1) 新潟県立生涯学習推進センター (映画上映会)
- (2) 新潟県立文書館 (教養講座)
- (3) 新潟県立図書館 (教養講座)
- (4) 長岡市立中央図書館 (映画上映会)

(野外施設、博物館)

- (5) 国営越後丘陵公園 (野外イベント)
- (6) 新潟県立植物園 (企画展)
- (7) 新潟県立歴史博物館 (企画展)
- (8) 新潟市歴史博物館 みなとぴあ (企画展)

(音楽関連)

- (9) 新潟市民芸術文化会館 りゅーとぴあ (音楽)
- (10) 長岡リリックホール (音楽)
- (11) 新潟市秋葉区文化会館 (音楽)

(美術関連)

- (12) 新潟県立万代島美術館 (美術展)
- (13) 新潟市美術館 (美術展)
- (14) 新潟市新津美術館 (美術展)
- (15) 新潟県立近代美術館 (美術展)

巻末 「日常生活支援機器情報コーナー no.53」

「ブレイルメモスマート Air32」

掲載ご協力 株式会社ラビット 代表取締役 荒川明宏 様

1 開館・電話受付時間と4月～6月の休館日

●開館・電話受付時間

午前9時～午後5時

●4月～6月の休館日

4月（発行日以後）

4月26日（月）、30日（金）

5月 3日（月）、 6日（木）、7日（金）、8日（土）

10日（月）、17日（月）、24日（月）、31日（月）

6月 7日（月）、14日（月）、21日（月）、28日（月）

●ゴールデンウィーク中の休館日のお知らせ

今年のゴールデンウィーク中の休館日は、4月30日（金）、5月3日（月）、6日（木）から8日（土）です。連休期間前に図書等の貸出しを希望される場合は、お早めにお申込み下さい。

2 視覚障害者情報センターから

●令和3年度のセンター職員

令和3年度のセンター職員をご紹介します。

センター長 斎藤義樹

狩野みさと、山口史明、石原優芽乃、吉田拓斗、

岩井悦子、槇口文子、堤咲子、山崎梨絵 の9名です。

よろしくお願いたします。

●新しい職員の紹介

令和3年4月1日付けで新しい職員が採用となりましたのでご紹介いたします。

《自己紹介》

はじめまして、4月1日付けで採用された当センターで働かせていただく

ことになりました吉田拓斗（よしだたくと）と申します。新潟医療福祉大学を卒業し、大学では視覚障害当事者の方々を支えられるようになりたく、勉学に励みました。大学時代には、学友会で学校祭を運営したり、ボランティア活動で祭りの手伝いなどを行っていました。

趣味はスポーツ観戦と最近お菓子作りを楽しんだりしています。

よろしく願いいたします。

●令和3年度のセンター事業計画・年間行事

1 事業計画

県内の視覚障害者の情報保障をめざし引続きキャンペーンを展開し利用を促進します。また、利用者のアクセシビリティの向上のためデータ利用の推進、読書バリアフリー法制定に伴うタイムリーな情報提供や公立図書館等との連携。更に、豊かで文化的な生活の支援に向けた読書関連イベント等各種の体験事業等にも取り組みます。

(1) 利用促進

- ア 巡回ミーティングや利用者アンケートの実施を通じて利用者ニーズの把握
- イ 新規利用者拡充のためのパンフレット等の作成
- ウ 情報センター事業推進懇談会、図書選定委員会の開催
- エ 朗読会、ブックトーク等の読書関連イベントや、囲碁体験会等の開催
- オ 情報機器利用コーナーの設置等による録音再生機器等の試用及び指導
- カ 視覚障害者に便利な日常生活用品等の展示、試用
- キ 移動情報センターの開設(巡回ミーティング及びアイフェスタに合わせる)
- ク 公立図書館や地域の学校訪問等を通じての晴眼者や若年層への視覚障害普及啓発
- ケ 視覚障害者等団体行事への参加による情報・意見交換の実施

(2) 情報提供サービスの充実

- ア メーリングリストによるタイムリーな情報発信(地域の月刊雑誌や新聞情報)、ホームページの内容充実やSNSの定期的な更新
- イ 「メールにいがた」「福祉だより」の発行

- ウ 点字図書、デイジー図書、テキストデイジー図書及び各種雑誌等の製作
- エ 「サピエ」を活用した点字、録音及びテキストデイジー図書、雑誌の貸出し及び情報提供や利用者の利便性向上のためのサピエの利用方法研修会の開催
- オ 視覚障害当事者の見え方に合った適切なICT機器の利用相談、操作方法支援やパソコン・スマートフォンを利用した録音図書利用の普及啓発
- カ レファレンスサービスの実施
- キ プライベートサービス（対面朗読サービス、図書・取扱説明書・図書目録等の点訳・音声訳サービス、代筆サービス等）の実施

2 年間行事

日時、行事名、会場等

- 6月13日（日）午前 囲碁体験会 新潟ふれ愛プラザ
- 6月24日（木）午後 第1回図書選定委員会 新潟ふれ愛プラザ
- 7月9日（金）午後 第2回ふれ愛ブックトーク 新潟ふれ愛プラザ
- 7月11日（日）午前 囲碁体験会 新潟ふれ愛プラザ
- 10月17日（日）アイフェスタ2021 柏崎市総合福祉センター
- 10月29日（金）午後 ふれ愛朗読会 新潟ふれ愛プラザ
- 11月18日（木）午後 第2回図書選定委員会 新潟ふれ愛プラザ
- 11月19日（金）午後 事業推進懇談会 新潟ふれ愛プラザ

なお、新型コロナウイルスの影響で日時の変更、中止となる場合があります。また、詳細については、メールにいがた等でお知らせします。

●イベント情報 囲碁体験会のご案内

新潟県視覚障害者情報センターでは文化事業の一環として今年度も囲碁体験会を開催します。

囲碁の起源は約4千年前の中国。日本には飛鳥時代に伝わってきたと言われています。囲碁は通常19×19の格子が描かれた碁盤へ交互に配置しますが、視覚障害（身体・聴覚障害を含む）の人がハンディなしで晴眼者と互角に対局できる九路囲碁が普及しています。

使用する碁石は、指先で石の白黒が判別でき、碁盤は触っても石の位置が

変わらないものを使用します。

講師には数名の経験豊富な先生をお願いし、初心者から経験者まで楽しめる内容となっています。

皆様の参加申込みをお待ちしております。

1 日時、会場等

第1回 6月13日(日) 午前9時～12時

第2回 7月11日(日) 午前9時～12時

新潟ふれ愛プラザ 2階 研修室

2 定員

6名(ガイドヘルパーを除く)

昨年度の体験者は申込みできません。

3 申込方法

電話又はメールでお申込み下さい。

申込み締切は5月30日とします。

TEL 025-381-8111

FAX 025-381-8115

メール tosyo@ngt-shikaku.jp

4 参加費 無料

●イベント情報 第2回ふれ愛ブックトーク開催のご案内

昨年11月に第1回を開催し、ご好評をいただいていた読書関連イベント「ふれ愛ブックトーク」の第2回を以下の日程にて開催いたします。世間的に定義・イメージされている「ブックトーク」は図書館職員がテーマに沿った本を一方向的に紹介する、というものですが、当センター開催の「ふれ愛ブックトーク」では紹介するのは職員だけでなく、参加される皆様にも設定したテーマに関するおすすめの本を1人5分のリレー形式で紹介していただきます。話す内容はあらすじを紹介するもよし、自分の体験に照らして心に響いた部分を語っていただくもよし、の自由形式です。上手にお話していただくことが目的ではなく、本の面白さや心に響いた部分を参加者で共有する「トーク」が目的です。読んだ本の感想や面白さを語りたけれども、周囲に話せる人がいない。他の人がどんな本を読んでいるか知りたい。そんな方はぜひお気軽にご参加ください。

第2回目のテーマは「生き物に関する本」です！動物、鳥、昆虫、魚、微生物など、生き物のことに触れているものであれば、小説・エッセイ・ルポルタージュ・雑誌の記事など何でもOKです。ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。

- 1 日時 7月9日（金）午後1時から3時半（予定）
- 2 会場 新潟ふれ愛プラザ 2階 会議室
- 3 参加費 無料
- 4 定員 最大10名まで（先着順） ※付き添いの方の参加もOK！
- 5 持ち物 不要
- 6 申し込み方法・締め切り

7月1日（金）12時までに電話又はメールでお申し込み下さい。

TEL 025-381-8111

メール tosyo@ngt-shikaku.jp

7 備考

参加者にはペットボトルのお茶をご用意いたします。また当日はウイルス感染対策を実施しての開催となります。参加の際はマスクの着用、手指のアルコール消毒をお願いいたします。

●デイジー雑誌休刊のお知らせ

メールにいがた148号本編で、新潟に関連したデイジー雑誌として、新潟県内のスポーツ情報誌「スタンダード新潟」を紹介しておりましたが、急遽、発行元から雑誌休刊の連絡が入りました。

以上の理由で製作ができなくなったため、このデイジー雑誌の取り扱いを中止させていただきます。購読を検討されていた方は恐れ入りますが、ご了承くださいますようお願いいたします。



●利用者アンケートの概要報告

2020年12月から2021年2月にかけて、利用者の皆様を対象にアンケートを実施いたしました。アンケートにご回答くださいました皆様に心からお礼を申し上げ、概要をご報告いたします。また、アンケート結果を基に、センターの事業やサービスのあり方を再考し、今まで以上に利用者の皆様に寄り添った情報提供を行っていきたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。

【令和2年度利用者アンケート結果概要報告】

送付者250名 回答者90名、回収率36%

1. アンケート回答者の傾向について

男女比はほぼ同数で、通常使用している文字は音声が44%、墨字使用者（標準文字・拡大文字含む）が30%、点字が25%であった。アンケート回答者の年齢は60代、70代、80代が全体の72%を占め70代が29%と一番多かった。視覚障害の手帳等級では1級2級が全体の88%を占めていた。回答者の75%は視覚障害のみを持つが、10%の人は聴覚障害（手帳無しも含む）を合わせて持っていた。視力以外の見えにくさでは薄暗い場所が見えにくい、視野が欠損している、目が疲れるという回答が回答者の半数から得られた。

2. センターサービス、サピエについて

13の主なセンターサービスの満足度を5段階評価した結果、図書製作の水準や職員対応など7項目で70%を超えていた。他方、センターを利用せず、直接サピエを利用する人の数が年々増えていることから利用者のデジタル化が進んでいることがわかった。サピエ図書館を利用している人は全体の36%で3日に1回から毎日利用する人は全体の41%であった。また、サピエを利用していない人の26%はインターネット環境が無いから利用していないものの、23%の人がサピエを知らず、21%の人は機器の操作がわからないと回答していた。

3. 読書機器について

プレクストーク使用者が32%と一番多いが、ルーペやタブレット端末など保有視覚を活用して読書をする人は23%とロービジョン者の利用が多いことも改めて分かった。また、機器の操作方法の学習手段としては独学が一番多く50%で、次いで支援者、家族の順で多かった。

4. ニュースの入手方法

国内・新潟県内のニュースはテレビから得る人は約76%と一番多く、次いでラジオが約67%であった。総務省が実施している晴眼者を対象とした同様の調査と比較し、ラジオ利用者が圧倒的に多かった。視覚障害に関連する情報については視覚障害者団体の会報誌から情報を得る人が52%と一番多かった。他方、最新の眼科医学情報などを知りたいものの得られていない状況があることが見えてきた。センターから届けてほしい情報のジャンルについては多種多様な意見があるものの、傾向としては「視覚障害の業界情報」・「新製品情報」・「福祉」・「地元情報」のニーズが比較的高かった。

5. 情報センターへのご意見

センターへのお礼や感想、センターや社会に対する要望など35件のご意見を頂戴した。今後のセンターサービスや新たな情報提供を行う検討材料とする。センターだけでは対応できない内容（同行援護の地域間格差問題や日常生活用具の給付品目や給付対象に関する事）などについては新潟県視覚障害者福祉協会と共有し、問題の改善に向けて引き続き努力していきたい。

●サピエ図書館 人気図書ランキング

サピエ図書館において、2月～3月にオンラインリクエスト数の多かった全国の人気図書をご紹介します。書名、著者名、巻数（点字図書のみ）、収録時間（デイジー図書のみ）、所蔵館の順に記載しています。図書の詳しい内容が知りたい方は当センター職員までお気軽にお問合せください。

点字図書

- 1位「もしかしてひょっとして」 大崎梢著 3巻 福井視情セ
- 2位「少年と犬」 馳星周著 4巻 福井視情セ
- 3位「クスノキの番人」 東野圭吾著 8巻 旭川点図
- 4位「ゆかいなおりがみ」 中野独王亭（どくおうてい）著 4巻 千葉点図
- 5位「渋沢栄一 「日本近代資本主義の父」の生涯」
今井博昭（ひろあき）著 4巻 島根う図

録音図書

- 1位「青田波（あおたなみ） 新・酔いどれ小籐次 19」
佐伯泰英著 7時間47分 豊中市岡町図

- 2位「黙示（もくじ）」 今野敏著 8時間27分 さいたま中央図
 3位「半沢直樹 アルルカンと道化師」 池井戸潤著 8時間49分 西宮視障
 4位「ヒポクラテスの試練」 中山七里著 9時間44分 さいたま中央図
 5位「ラビットセミナー2013「iPhone VS らくらくスマートフォンプレミアム」」 ラビット編 1時間56分

テキストデイジー（※ダウンロード数の多かった順）

- 1位「矜持 警察小説傑作選」 今野敏 [ほか] 著 デイジー枚方
 2位「官能文学館 恥姦（ちかん） 図絵版」
 青木信光（あおきのぶみつ）編 鹿児島視情セ
 3位「三つ巴 新・酔いどれ小籐次 20」 佐伯泰英著 島根西視情セ
 4位「非接触温度計内蔵ドアベル FTW03 取扱説明書」
 ビームテックワランティ発行 鹿児島視情セ
 5位「天久鷹央（あめくたかお）の推理カルテ 5 神秘のセラピスト」
 知念実希人（ちねんみきと）著 宮城視情セ

●利用者参加・文芸コーナー

このコーナーでは当センターの利用者の方に投稿いただいた俳句、短歌、川柳をご紹介します。なお、掲載の順番は受付順といたします。

【俳句】

独り居や幸せ猫と春ごたつ
 日捲（ひめくり）や春つげ鳥の思案かな
 露の臺（ふきのとう）早食卓の笑顔かな

でんでん虫

【短歌】

雪解けに窓を開ければ聞こえ来る春の足音草木の芽吹き
 春風に誘われ妻の手引きうけ歩くにゃ遠い病院通い
 廃校となりし懐かし学び舎に桜咲く日に友等と集う

流れ星

文机（ふづくえ）の奥より出でたる万年筆かつて好みし若草色の
裸木（はだかぎ）の枝しなわせて夕暮れの空に風鳴る風に真向かう
上林洋子

【川 柳】

春はそこ明日（あした）の種に水をやる
タイミング心得ている褒め上手
長生きのシナリオ変えるパンデミック

本間光子

ひと目惚れ胸の振り子が速くなり
明暗が重い空気を入れかえる

渡辺幸栄

生かされて感謝虚弱が喜寿迎え
目も耳も萎えて点字のありがたさ
赦（ゆる）されているから赦すことができ

小林恒雄

投稿いただきました6名の皆様ありがとうございました。

文芸作品募集要領

- 1 募集 俳句、短歌、川柳の3部門のうちいずれかひとつ
- 2 募集作品 毎回お一人各3句、3首以内、自作、未発表の作品。
誤字、誤読等を防ぐため漢字や語句にはふりがなをつけてください。
- 3 応募締切・掲載 偶数月月末（今回は4月28日）までに当センター必着。翌偶数月号（今回は6月号）のメールにいがた文芸コーナーに掲載
- 4 その他（表彰の実施）
4、6、8、10、12、2月号に掲載した作品について、にいがたアイサ

ポートセンター内で審査を行い理事長賞、情報センター長賞等を設けることにしました。

●文芸コーナー 令和2年度理事長賞、情報センター長賞の発表

昨年度は文芸コーナーに多くの投稿をいただきありがとうございました。多数の作品の中から、視覚障害者福祉協会理事長と情報センター長が特に良かったと感じる作品を選出し、理事長賞と情報センター長賞を授与いたします。受賞された皆様、おめでとうございます。ささやかではございますが、記念品をお送りいたします。

令和2年度理事長賞

【俳句】

饅頭の届きしみじみ敬老日 石岡ヒロ子

【短歌】

冬なぎの万代橋は輝けり静粛なりし心嬉しき でんでん虫

【川柳】

白杖に知らず小鳥の信号機 渡辺幸栄

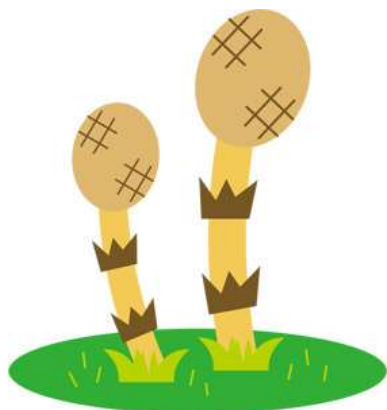
令和2年度情報センター長賞

【短歌】

葉桜の木下（こした）にしばし佇みてマスクを外し初夏の風吸う
上林洋子

【川柳】

コロナから命を守りいまがまん 水野千津子
いい夜明け今日も希望の窓を開け 流れ星



3 お役立ち情報

このコーナーでは、視覚障害に関する様々な行事や日常生活に役立つ情報を掲載しています。次号150号（6月発行）に掲載したい情報は、5月5日（水）までに当センターへご連絡ください。

●新潟県視覚障害者福祉協会からのお知らせ

新潟県視覚障害者福祉協会が実施する主な行事等をお知らせします。

お問合せなどは視覚障害者福祉協会事務局へ。

〒950-0121 新潟市江南区亀田向陽1-9-1 新潟ふれ愛プラザ内

電話025-381-8130 FAX025-381-8120

Eメール ngt.shikaku@cello.ocn.ne.jp

(1)「ふれあい・いきいきサロン」のご案内

毎月第1と第3木曜日に新潟ふれ愛プラザで開設しているふれあい・いきいきサロン。5月～6月の開設日をお知らせします。

自分の生い立ちの話や地域の話、自分の見え方の悩みなどなんでも皆さんでお話してください。皆さんお誘い合わせのうえ、お気軽にお越しください。事前の申込みは不要です。

日時 5月 6日（木）、20日（木）

6月 3日（木）、17日（木）

何れの日も午後1時30分から3時30分

場所 新潟ふれ愛プラザ 2階 研修室等

(2) アイフェスタ2021の開催予定について

今年のアイフェスタの開催が決まりました。開催方法を、一昨年の上越市に引き続き地区巡回開催方式とし、令和3年度は10月17日（日）に姉崎惣十郎のゆかりの地である柏崎市において、柏崎市総合福祉センターを会場に開催を計画中です。

なお、プログラムの概要としては、「フォーラム・姉崎惣十郎の功績について」「巡回情報センター」「機器展示」などとしております。

詳細は、後日、決定次第ご案内いたします。

4 視覚障害者関連団体からの情報

日視連（社会福祉法人日本視覚障害者団体連合）、全視情協（特定非営利活動法人全国視覚障害者情報提供施設協会）等の情報を掲載いたします。

●日視連の令和3年度事業計画

3月2日の日視連の第4回理事会で令和3年度の事業計画が決定されましたので概要を抜粋し報告いたします。

1 日視連としての取り組み

昨年度の定款変更を経て、本連合の組織体の在り方が大きく変わった。時代に合わせた組織体への変化は必須であることから、オンライン会議の推進、日視連顕彰の改正等、将来ビジョン推進委員会を活用することで、本連合の運動や事業の在り方の見直しと、将来ビジョンの達成に向けた取り組みを行っていく。

2 活動の基本

視覚障害者にとって情報保障、外出時における安全対策、そして就労問題は、もっとも重要な課題である。根幹となるのは基本的人権の保障あるいは差別のない社会である。

本年度は、これまでに繰り返し要求しても実現しなかった課題を見直すとともに、コロナ禍で見えてきた新たな課題や障害者権利条約の理念に基づいた社会の進歩を実現するため、本連合と加盟団体が一丸となって取り組む1年としなければならない。

3 課題別計画について

(1) 視覚障害者がデジタル化に対応するための取り組み

ア 様々なデジタル分野のアクセシビリティ向上に向けた働きかけ

視覚障害者にとって情報保障は永久の課題である。そのため、本連合は従来から情報保障の必要性を訴え、情報のアクセシビリティ向上、特にデジタル分野のアクセシビリティ向上に関する取り組みを進めてきた。新型コロナウイルスの感染拡大の中で、様々な分野でのデジタル化が急激に進展している。そこで、本連合は、全ての視覚障害者が、急速に進展するデジタル化による恩恵を受けることができる環境の構築を目指す。特に、インターネット、パソコン、スマートフォン、家電製品等は、視覚障害者の生活に直結するものとなっているだけに、アクセシビリティの早急な改善が必要である。また、コンビニやスーパー等では、セルフレジやタッチパネル式端末等、視覚障害者が容易に利用できない

機器等が増えている。さらに、デジタル化の波は教育分野にも及んでおり、デジタル教科書や各種デジタル教材の利用が進んでいるものの、視覚障害の学生の利便性が意識されていない。

これらの多岐にわたる問題を解決するためには、総合的な施策の観点からアクセシビリティの確保を求めることが必要である。そのためには、本年9月に創設されるデジタル庁に対する働きかけが重要である。同庁に対して視覚障害者のアクセシビリティ向上のために、障害当事者を採用した専門部署の設置、視覚障害者が利用するための総合的なガイドラインの作成、システムや商品開発等への当事者参加等を求める。特に、全盲、弱視者（ロービジョン）それぞれの課題を解決することを意識しながら、総合的な施策の確立を求め、デジタル庁に積極的に働きかけていく。

イ ICTの更なる活用

ICTを活用することは、視覚障害者自身の生活を大きく改善させる可能性を秘めている。例えば、オンライン会議システムを活用することで、視覚障害者の移動の負担を軽減することができる。また、電子マネーを活用することで、お釣りの出し入れの負担が軽減できる。つまり、我々視覚障害者自身もICTを積極的に活用することは、必要不可欠なこととなってきている。

そのためには、ICTに関する訓練や支援が必須である。それこそ、フィーチャーフォンを利用している視覚障害者がスマートフォンを利用できるようにするには、利用者に寄り添った形で訓練や支援を実施することが求められる。また、あはき療養費の書類作成も、ICTに関する訓練を受けることで保険取り扱いを可能としたり、負担が軽減される可能性がある。そのため、全国でこのICTに関する訓練や支援が行われ、容易に視覚障害者が訓練や支援を受けられるよう、積極的に国や関係機関等に働きかけなければならない。さらに、ICT関連の機器が日常生活用具として指定され、購入しやすくすることも必要である。

(2) 情報コミュニケーションの確立に向けた取り組み

ア 様々なデジタル分野のアクセシビリティ向上に向けた働きかけ

読書バリアフリー法の成立後、国の基本計画が策定される等、着実に同法の推進が図られている。しかし、まだ遅れている部分も多く、不十分な読書環境を改善するための取り組みが本年度の課題である。

まず、各地域での基本計画の策定を加速させることが必要である。視覚障害者が各地域の点字図書館や公共図書館をこれまで以上に有効に活用するために、各地での取り組みを牽引し、本連合の加盟団体と共に各地域での基本計画の策定を進めていく。また、出版分野において、テキストデータが速やかに提供される仕組みを実施することも必要である。テキストデータの提供体制の制度化はもちろん、電子書籍や各種読書端

末のアクセシビリティの向上を求めていく。さらには、視覚障害者の読書を支える人材の確保も必要であり、点訳・音訳者の養成も推進していきたい。特に、人材の確保として、ボランティアではない専門家を法的に位置づけることを求めていきたい。

イ 情報コミュニケーション法の早期成立

視覚障害者は、様々な面で情報の取得やコミュニケーションに困難を抱えている。そこで、令和元年度から障害者の総合的な情報コミュニケーションを保障するための「情報コミュニケーション法（仮称）」の立法に向け、様々な障害当事者団体と共に運動している。本連合としては、これまで実現してこなかった情報コミュニケーションの保障を、同法の制定によって制度化することを目指している。

特に、テレビにおける速報等の字幕表示の音声化、解説放送の一層の拡大を同法によって制度化を求めていく。また、自治体等からの通知が視覚障害者にも分かるよう、封筒に点字や拡大文字で表示したり、内容も点字や拡大文字で記載することの制度化を求めていく。さらに、本年度実施される衆議院選挙をはじめ、全ての希望者に、点字・音声・拡大文字による選挙公報が配布されるよう、強く求めていく。そして、選挙公報の法制化の実現に繋げていく。

本年度は、同法の立法に向けて視覚障害者の情報コミュニケーションに関する課題をさらに整理し、立法化を進める議員連盟に対して具体的に提言する。

(3) 点字文化の普及に向けた取り組み

2025年には、ルイ・ブライユが点字を考案して200周年を迎える。そこで、点字の可能性と新たな展開を見据えた取り組みを模索していく。点字は、視覚障害者の社会参加並びに文化・芸術活動等の推進にとって必須のものであり、デジタル化が進む現在においても、重要な存在である。そのため、公的機関が公開している情報等は、全て点字で読めるように求めていく。また、点訳作業の効率化の推進に向けて、最新技術の導入やテキストデータの提供等、関係機関の支援を求めていく。



5 県内主要文化施設が企画・主催する行事

行事については、新型コロナウイルスの影響を考慮し、中止または延期となる可能性があります。ご利用に当たっては直接施設に電話等でご照会下さい。

映画上映会、講座

(1) 新潟県立生涯学習推進センター（新潟市中央区女池南3-1-2）

お問合せ 電話025-284-6110

催事名1 5月の上映会

にいがた偉人伝 【2017年 BSN新潟放送 各話13分】

激動の時代を切り拓いた先人の生涯② 次の10人の業績や生き方を紹介します。

中野貴一 益田孝 原久一郎（はらひさいちろう） 西脇順三郎

坂口謹一郎 大倉喜八郎 諸橋鞆次（もろはしてつじ）

土田麦僊（つちだばくせん） 遠藤実 川上善兵衛

日時 5月13日（木）、20日（木）、30日（日）

いずれも、開場時間は午後1時、上映開始時間は午後1時30分です。

催事名2 6月の上映会

おじいさんと草原の小学校 【2010年/イギリス/103分/日本語字幕】

84歳で小学校に入学した一人の老人の感動の実話を映画化したヒューマン・ドラマ。

監督 ジャスティン・チャドウィック

出演 ナオミ・ハリス オリヴァー・リトンド トニー・キコロギ

日時 6月17日（木）、24日（木）、27日（日）

いずれも、開場時間は午後1時、上映開始時間は午後1時30分です。

会場 ホール（県立図書館複合施設）

申込 事前予約が必要ですので、県立生涯学習推進センターに電話でご連絡ください。

(2) 新潟県立文書館（新潟市中央区女池南3-1-2）

お問合せ 電話025-284-6011

4月～6月開催の文化催事情報はありません。

(3) 新潟県立図書館（新潟市中央区女池南3-1-2）

お問合せ 電話025-284-6001

4月～6月開催の文化催事情報はありません。

(4) 長岡市立中央図書館（長岡市学校町1丁目2番2号）

お問合せ 電話0258-32-0658

催事名 映画会

日時 作品名

5月12日（水）（午後2時～3時30分）

「台北の朝、僕は恋をする」2010年台湾／アメリカ

5月29日（土）（午後2時～3時40分）

「バルカン超特急」1938年イギリス

6月11日（金）（午後2時～4時5分）

「ならず者」1943年アメリカ

6月19日（土）（午後2時～3時45分）

「花蓮（かれん）」2015年日本

会場 中央図書館2階講堂

定員 先着180人

料金 無料

野外施設、博物館

(5) 国営越後丘陵公園（長岡市宮本東方町字三ツ又1950番1）

お問合せ 電話0258-47-8001

催事名1 チューリップまつり

137品種 22万球のチューリップが花の丘一面に咲きそろいます。期間中はイベント盛りだくさん。

4月25日～29日にはチューリップの花びらでつくった花絵が登場。

日時 4月24日（土）～5月5日（水・祝）

会場 国営越後丘陵公園

催事名2 香りのばらまつり

800品種約2400株の香りのばら園のばらが咲き誇ります。

日時 5月22日(土)～6月13日(日)

会場 国営越後丘陵公園

(6) 新潟県立植物園(新潟市秋葉区金津186番地)

お問合せ 電話0250-24-6465

催事名 「シャクナゲ・ツツジ展」

新潟県は日本一のシャクナゲ生産地であり、当園は日本一のツツジ・シャクナゲのコレクションを保有しています。

本展では、ツツジ・シャクナゲの野生種、新潟で作出された西洋シャクナゲ品種、当園が誇る貴重で華やかなコレクションの一部を大公開します。

※期間中、屋外園地でも「シャクナゲ園」が見ごろを迎えます。「シャクナゲ園」では、高さ4～6m、他に例を見ない大きさの西洋シャクナゲ100株以上が次々に開花します。4月下旬から5月中旬まで、豪華な花をお楽しみいただけます。

期間 5月16日(日)まで

会場 観賞温室第2室

(7) 新潟県立歴史博物館(長岡市関原町1丁目字権現堂2247番2)

お問合せ 電話0258-47-6130

催事名 春季企画展 「博覧会の世紀 1851-1970」

1851年のロンドン万国博覧会に始まり、今日に至るまで数千回にも及ぶ博覧会が開かれてきました。時代とともに、目的や展示の内容、手法も変化し、博覧会はまさに時代を映す鏡とも言えます。

本展覧会では19世紀から20世紀の博覧会を見渡すことにより、私たちが歩んできた歴史そのものを振り返ります。新潟県における博覧会の歴史もあわせて紹介します。

期間 4月24日(土)～6月6日(日)

会場 企画展示室

(8) 新潟市歴史博物館 みなとぴあ(新潟市中央区柳島町2-10)

お問合せ 電話025-225-6111

催事名 企画展「みなとまち新潟の記憶—新潟町会所文書の世界—」

「新潟町会所（まちかいしょ）文書」は、新潟町に関わる江戸・明治初期を中心とした文書・絵図に近代以降の一部の文書が混入した史料群です。本展では、「新潟町会所文書」を通して「みなとまち新潟」を見つめ直します。

期間 5月30日（日）まで

会場 本館1階 企画展示室

音楽関連

（9）新潟市民芸術文化会館 りゅーとぴあ（新潟市中央区一番堀通町3-2）

お問合せ 電話 025-224-5521（チケット専用ダイヤル）

※各公演会場の開場時間は、公演開始時間の概ね30分前です。

催事名 りゅーとぴあ・1コイン・コンサート Vol.1 13「衝撃のスペクトル
“ピアノデュオ”」

日時 5月21日（金）午後5時～7時

会場 コンサートホール

出演 ピアノ 山中惇史、高橋優介

定員 2,000人（コロナ対策で定員の1/2）

鑑賞料 全席自由 500円

（10）長岡リリックホール（長岡市千秋3丁目1356番地6）

お問合せ 電話0258-29-7715

催事名 KERA CROSS 第三弾「カメレオンズ・リップ」

日時 5月15日（土）午後2時～

会場 長岡市立劇場・大ホール

作 ケラリーノ・サンドロヴィッチ

演出 河原雅彦

出演 松下洸平、生駒里奈、ファーストサマーウイカ、坪倉由幸、
野口かおる、森準人（もりはやと）、シルビア・クラブ、岡本健一

定員 750人

鑑賞料 全席指定 7,500円

（11）新潟市秋葉区文化会館（新潟市秋葉区新栄町4番23号）

お問合せ 電話0250-25-3301

催事内容は直接ご照会ください。

美術関連

(12)新潟県立万代島美術館(新潟市中央区万代島5-1 朱鷺メッセ内 万代島ビル5階)

お問合せ 電話025-290-6655

催事名 「芳年(よしとし) 激動の時代を生きた鬼才浮世絵師」

最後の浮世絵師、月岡芳年(つきおかよしとし、1839-92)の“すべて”が分かる決定版! 武者絵、役者絵、怪奇絵、戦争画から美人画まで。質・量ともに“世界屈指”の個人コレクションから、選りすぐりの263点を一挙公開。

期間 5月5日(水・祝)まで

会場 美術館展示室

(13)新潟市美術館(新潟市中央区西大畑町5191-9)

お問合せ 電話025-223-1622

催事名 企画展「無言館一遺された絵画からのメッセージ」

全国の戦没画学生の絵画を集め、展示する長野県の美術館「無言館」の所蔵品から、望郷・家族・自我・恋・夢をテーマに約130点を紹介。彼らがキャンバスに描いた親しい人の姿や場所、憧れや理想の形に、失われた可能性、平和の尊さを身近に感じてみてください。新潟市美術館の所蔵品から、加藤一也、佐藤清三郎、金子孝信も特集します。

期間 6月6日(日)まで

会場 企画展示室

(14)新潟市新津美術館(新潟市秋葉区蒲ヶ沢109-1)

お問合せ 電話0250-25-1300

催事名 リサ・ラーソン展 創作と出会いをめぐる旅

世界各地で人気を博しているスウェーデンの陶芸家リサ・ラーソン(1931-)。スウェーデンの陶芸制作会社・グスタフスベリ社に26年間在籍した初期から、フリーデザイナーとして90歳を迎える現在まで、リサ・ラーソンは世界各地のアーティストとの出会いに刺激を受け、「小さい動物園」「ABC少女」「社会討論」など多彩な作品群を制作してきました。本展では、

幼少期から近年までの代表作約200点と合わせて、リサの創作活動に大きな影響を与えたアーティストたち—北欧のモダニズムデザイナー、スティグ・リンドベリから、日本の陶芸家・濱田庄司まで—の作品約20点などを展示し、創造性豊かなリサの制作ルーツとその源泉に迫ります。

期間 6月13日(日)まで

会場 新潟市新津美術館

(15) 新潟県立近代美術館(長岡市千秋3丁目278-14)

お問合せ 電話0258-28-4111

催事名1 【企画展】 Viva Video! 久保田成子(くぼたしげこ)展

新潟県西蒲原郡巻町(現・新潟市西蒲区)に生まれ、ニューヨークを拠点に国際的に活躍したビデオ・アーティスト久保田成子(1937-2015)の没後初、日本で約30年ぶりの個展です。代表作のビデオ彫刻をはじめ、ドローイング、資料などで初期から晩年までの活動を幅広く紹介します。

会場 企画展示室

期間 6月6日(日)まで

催事名2 コレクション展 第1期

展示室1 POP ART をめぐる旅

イギリスで生まれ1960年代にアメリカで花開いたポップアート。その大きな影響を巡ります。

展示室2 時をかける美術

目に見えない「時間」をテーマに、その痕跡を表現した作品を紹介します。

展示室3 ほっこりするアート

「ほっこり」をキーワードに、ユーモア・優しさ・可愛らしさ・親しみなどが表現された作品を紹介します。

期間 6月13日(日)まで

会場 コレクション展示室



【編集後記】

コロナ禍で迎えたこの冬は、大雪にも悩まされた方も多いのではないのでしょうか？私は毎日の雪かきで筋肉痛に襲われ、日頃の運動不足を痛感しました。さらに、日常の手洗いとアルコール消毒で手が荒れてしまったりと、悩みが尽きない冬になりました。

我が家ではこの冬、春告げ野菜と呼ばれる「祝蕾（しゅくらい）」という野菜が何度も食卓に並びました。「祝う」「蕾（つぼみ）」と書きます。食感はコリコリとしていて、ピリッとした辛味がわずかにあります。幸せが訪れそうなこの名前と食感と味が気に入り、簡単で美味しいレシピを模索しました。私のお気に入りには浅漬けです。祝蕾を好みの大きさにカットし、めんつゆと塩昆布で漬けました。収穫は2月くらいまでとのことなので、来シーズンも旬の季節になったら美味しくいただきたいです。

4月となり、ようやく春の足音がきこえる季節となりました。春は出会いと別れの季節ですが、当センターでは新たな職員を迎え、新しい風が吹くと感じています。私自身も気持ちを新たに、よりよいサービスが提供できるよう努めていきたいと思えます。

(堤)

次号150号は、
2021年6月22日発行予定です♪



メールにいがた（新潟県視覚障害者情報センターだより）

（第149号 2021年4月）

発行：社会福祉法人 新潟県視覚障害者福祉協会

にいがたアイサポートセンター

新潟県視覚障害者情報センター

〒950-0121

新潟市江南区亀田向陽1-9-1 新潟ふれ愛プラザ内

TEL 025-381-8111 FAX 025-381-8115

メール tosyo@ngt-shikaku.jp

ホームページ <http://ngt-shikaku.jp/>

郵便振替：00510-5-93600

日常生活支援機器情報コーナー (no.53)

「ブレイルメモスマート Air32」

2021年4月、ケージーエス株式会社様より、「ブレイルメモスマート Air32」が発売となります。この商品は点字ディスプレイで、点字でメモを取りたい方、サピエなどの点字データを点字で読みたい方にはとても有効な機械です。

従来の機種は「ブレイルメモスマート 40」という商品でした。この従来の商品に比べて新商品は、バッテリーの持続時間が増えたこと、点字のマスが40から32に変更になったことです。点字は通常32マスでレイアウトされているので、40マスから32マスに減ったとしても、実際に使う時にはさほどの不自由さを感じないと思います。

しかし、パソコンとこの機種を接続して、点字編集用のソフトを使った場合には、行数などのステータス情報が表示されなくなるので、慣れるまでは不自由さを感じるかも知れません。

マス数：32マス、横幅：280ミリ、奥行：94ミリ、高さ：24ミリと横に細長い形をしています。重量：650グラム。少し持つと重く感じるかもしれません。

使いたい時、瞬時に起動します。スリープモードの状態から約1秒で起動できます。そのため、すぐにメモを取ったり、電話番号などの確認をしたりすることが可能です。

スリープモードでは約3日間充電をしなくても待機可能なため、常時スリープモードによる運用が可能です。また、専用バッテリーで約15時間連続駆動します。外出から帰宅まで、1日中使用しても、充電切れの心配がありません。また、充電時間も3時間と高速です。

拡張ライセンスを購入することにより、Word、Excel、PDFのファイルを直接読む事も可能です。また、従来機種と同じように音声も出力されます。メニューなどの操作をする際には音声を出し、点字編集などを行う時には音声を停止するといった使い方が可能です。価格は税込みで、418,000円となっています。

株式会社ラビット代表取締役 荒川 明宏

【記事掲載ご協力及び製品のお問合せ先】

株式会社ラビット

〒169-0075

東京都新宿区高田馬場1-29-7 スカイパレス401

電話 03-5292-5644 FAX 03-5292-5645

メール eigyo@rabbit-tokyo.co.jp